

同窓会報

同窓会長挨拶



同窓会会長
鈴木達司

師走の候、同窓会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、同窓会活動に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年度の創立六十周年記念事業に当たり、同窓会員をはじめ地域の皆様から御支援を賜り感謝申し上げます。

母校は、今年で創立六十一年目を迎える新たな第一歩を踏み出し、確固たる歩みに思いを馳せ、決意を新たにすることとなりました。今後も校訓である「聡明なる勤勞」のもと、地域との連携を深め、更なる発展を目指し地域に求められる人材の育成をしていくものと思っております。今、私の手元に六十周年記念誌があります。これを見ますと歲月がただ過ぎれば歴史はできるものではないと考へさせられました。その時代、その状況において母校で過ごされた同窓生の夢や志が情熱の源になり、渾美農高の発展に貢献された賜ものであります。

母校では、「カクメロ」の研究や今年で四十三回目を迎える生活科学科の農家宿泊実習、部活動では、野球部や卓球部、陸上部、農業クラブ等、先生方や生徒の弛みない努力により立派な成績をあげています。さて、同窓会・PTA・地域の方々の理解により始まったオランダとの国際交流事業も今年は、東日本大震災の影響で実施が危ぶまれましたが十三回目を行うことができました。今までにオランダ王国ウエラントカレッジから生徒百二十七名、保護者や教員等百十六名、母校から生徒百三十名、同窓会員・PTA会員・教員等六十三名、合計四百三十六名が相互に訪問しました。一昨年は、世界的な経済不況や新型インフルエンザの流行によって中断されましたが、関係諸氏の御尽力で一年のみの中止で再開することができました。この交流は、世界的な視野をもち豊かな国際感覚を備えた人材づくりを目指して行っています。同窓会として今後も意義ある交流の推進に努めてい

発行
愛知県立渥美農業高等学校
同窓会事務局
TEL 0531-221-0406
FAX 0531-221-6462



かなければならないと考えます。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。本年度より、母校のホームページの中に同窓会のページを開設しました。この中で同窓会活動報告等を同窓生の皆様にお伝えしていきたいと考えます。また、この「同窓会報」もこの中にPDFファイルとして掲載していく予定であります。是非、ご覧ください。

校長挨拶



校長
鈴木和昭

同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は母校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。特に、昨年は本校創立六十周年記念事業として、国際交流基金への補填、部活動への援助、記念誌の発行等を計画・実施していただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、オランダ王国ウエラントカレッジとの姉妹校交流も十三回を数え、より充実したのようになっております。

本年度は、六月五日から六月十七日までの日程で生徒十名を派遣し、受け入れは、十一月九日から十一月十五日でした。現在は、来年度の第十四回姉妹校派遣研修団員候補者を選抜し、すでに英会話などの事前研修会を実施しているところです。また、各部活動へ寄贈していただいた備品等については、有効活用に向け、部活動の活性化・競技成績の向上に結びつけているところです。

在校生の活躍の様子を報告させていただきます。一学年四クラス・全校十二クラス規模の決して多くない生徒数ですが、運動部・文化部および農業クラブ活動に生徒は積極的に取り組み、着実に成果を上げています。運動部の中では、陸上競技部・卓球部・野球部が好成績を上げています。陸上競技部で

は、男子走り幅跳びで三年樺山が東海高校総合体育大会において見事八位入賞を果たしました。卓球部は、東三河地区大会男子団体優勝、愛知県高等学校卓球リーグ二部優勝一部昇格、東海卓球選手権大会四名出場等の成績です。野球部は昨秋の東三河地区大会で優勝し、今年の第六十一回愛知県高等学校優勝大会では中京大京高校と延長十一回を闘い惜敗、第九十三回全国高等学校野球選手権愛知大会三回戦では愛工大名電高校に敗れましたが、今後のさらなる飛躍が楽しみです。他の運動部も日々の練習に励み、着実に力を付けています。今後の活躍が期待されます。一方、愛知県農業クラブ連盟主催プロジェクト発表会において、食品科学部が優秀、農業情報処理競技会においても、二名が優秀を獲得しています。農業鑑定競技は、長崎で開催される全国大会での活躍が期待されています。また、危険物取扱者資格をはじめ各種資格取得にも積極的に取り組み、前年度は、のべ八百四名の生徒が数多くの資格を取得してくれました。動物科学専攻生もよく頑張っています。今年も新城市牛牛市場において、最高値賞を受賞したことは高く評価したいと考えています。以上のように生徒達は、教職員の指導の下、それぞれの場面でよく努力を継続し、頑張っています。同窓生の皆様におかれましては、後輩である母校生徒達へ、今後も温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私事で恐縮ですが、平成二十四年三月末をもって三十八年間の教員生活を終えることとなりました。私は、昭和四十九年四月に新規採用教員として本校に赴任し、平成六年三月までの二十年間勤務させていただきました。その後、他校勤務を経て、平成十六年から教頭として、平成十九年から校長として勤務させていただきました。渥美農業高校在籍は、合計で二十八年間となりました。この間、多くの生徒・保護者・地域の皆様および同窓生の皆様に大変お世話になりました。今までの皆様方の御厚情に対し、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

むすびに、同窓生の皆様の御健勝・御活躍と当地域のますますの発展を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は母校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。特に、昨年は本校創立六十周年記念事業として、国際交流基金への補填、部活動への援助、記念誌の発行等を計画・実施していただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、オランダ王国ウエラントカレッジとの姉妹校交流も十三回を数え、より充実したのようになっております。

平成23年度(第13回) 姉妹校派遣研修

オランダ研修を終えて

食品科学科 三年
光部 和宏

- 1 派遣生徒
10名(男子生徒4名 女子生徒6名)
農業科(2A) 渡會 健太郎 楓
- 2 引率者
教諭 渡辺 廣嗣 花井 沙江子
教諭 榊原 範恵
- 3 派遣期間
6月5日(日) ～ 6月17日(金)
- 4 派遣日程
ライズワイク校での研修
フラワーオークション見学
ハーグ見学
現場実習(商店やフラワーショップ)
アムステルダム見学
ベルギー見学
- 5 受入期間
11月9日(水) ～ 11月15日(火)
- 6 受入日程
渥美農業高校見学と授業参加
市長表敬訪問
田原市内見学
愛知県民の森と豊川稲荷見学
現場実習(農家)

私はこれまでに海外へ何度か行ったことがあるのですが、ヨーロッパへは一度も行ったことがなかったためオランダ研修が決まったときは嬉しかった。パトリシアのバトリシアと初めて会ったときパトリシアは全然話しかけてくれなくて不安でした。女の子とペアじゃなければいけないから大変なのかなとこの先が不安でしたが、ホームステイ先の家に着くと家族の人たちが温かく迎えてくれたので家族の人たちから楽しい時間でした。

ホームステイ先での思い出は、パトリシアの友達十五人来てパーティーをしたことです。私が日本語を覚えてあげ、パトリシアの友達がオランダ語などたくさんのお話をしてくれ、夕方から夜の四時まで会話をしました。言葉が伝わらず会話途中で終わってしまうこともありましたが辞書を使ったりして私が何を伝えたいのか調べてくれました。別れのときは「BEST FRIEND」と言ってくれたので、またオランダに戻って来ると約束を交わし、私は一日でこんなに親友ができて嬉しくて泣きそうでした。



お茶体験



海岸での記念撮影

今思うとオランダに行き、英語で過ごすことができたのが信じられませんでした。私がとても心配だったことです。話してみると心配が一瞬でなくなるくらいでした。言葉が伝わらない時は紙に単語を書いたり、ジェスチャーで伝えたりしました。伝えられた時はとても嬉しくていろいろもつと伝えたいと思ったりしました。今回、オランダ派遣に行くと大変だった心配なこといろいろありましたが学ぶこともいっぱいありました。また、自分なりに成長できたこともあり行って良かったと思えています。いろんな体験をすることができ良い思い出ができました。

せん。パトリシアが日本に来たときには日本の文化をたくさん教えてあげ、オランダでしてくれた以上の恩返しをしたいです。また日本で会う日が楽しみです。

今回私がオランダ派遣に行こうと思った理由はオランダと日本がどのように違うか知りたいと思ったからです。行く前にはコミュニケーションができるかなど心配事もありましたがいろいろ興味があり参加しました。そして一週間の体験を通し、さまざまなことを感じました。

まず初めに時差があることに改めて驚きました。日本では起きてる時間に寝ているので慣れるまで少し眠かったです。そして私が一番気になっていた食生活では予想していたのと違いました。オランダではポテトやお肉を食べているイメージですがキュウリやパンなどもありました。オランダは主食がパンなのか朝・昼・夜がパンでした。パンでも日本と違いフワフワして美味しかったです。

農高祭の開催

本年も、農高祭が11月2日(水)・3日(木)に「私たち農業と恋愛中～あなたも恋しませんか～」をテーマに開催されました。1年間、取り組んできた研究を始め、学科紹介、オランダ王国の姉妹校との交流・北海道研修の報告展示や農場生産物の即売、バザー、PTA協賛の農産物の販売も行いました。また、四角いメロン「カクメロ」の普及活動や菜の花栽培からBDF(バイオディーゼル燃料)生成などをさらに発展させ、地元の田原市・豊橋地域に発信していきたいと考え、「農高祭」でも取り組みを紹介しました。

期日	対象	時間	内容
2日(水)	在校生	9:10～14:15	●芸術鑑賞 ●各種展示発表 ●専攻・科・部活動等展示、姉妹校派遣研修報告、北海道派遣研修報告 ●生徒企画(有志発表)
3日(木)	一般公開	9:30～13:00	●農場生産物即売 ●各種バザー ●PTA協賛農産物販売 ●生徒会・一品寄付品等 ●各種展示発表

